

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成31年3月】

■調査概要（データ対象期間：平成31年3月1日～3月31日）

- 調査期間：平成31年3月29日～平成31年4月19日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業24企業、製造業20企業、卸売業13企業、小売業31企業
飲食業18企業、サービス業45企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計151企業>
- 調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲14.0）よりマイナス幅が6.8ポイント縮小し、▲7.2となった。業種別では、サービス業はプラス幅が縮小した。製造業、建設業はマイナスから0となった。飲食業はマイナス幅が縮小した。小売業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

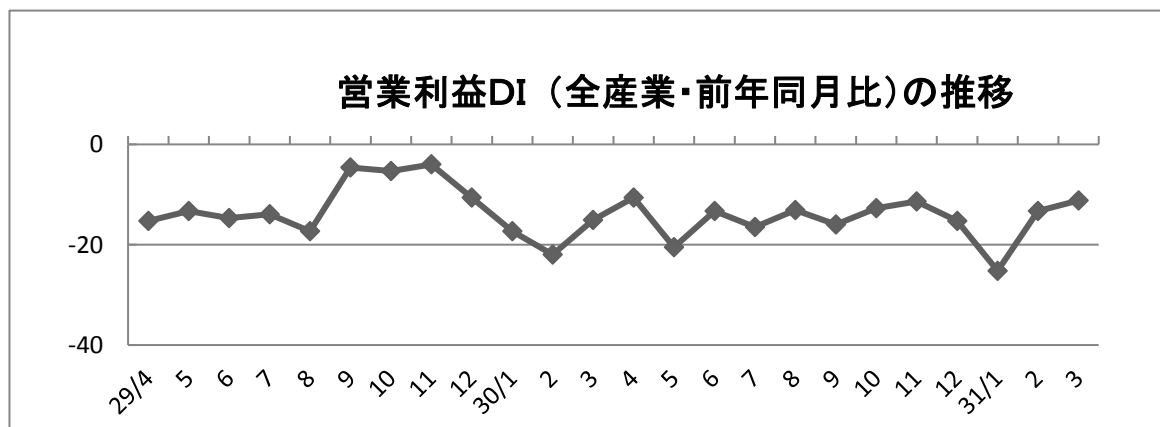
○全産業合計の水準DIは、前月（▲15.3）よりマイナス幅が9.4ポイント縮小し、▲5.9となった。業種別では、製造業、サービス業はマイナスからプラスに転じた。飲食業、建設業、卸売業はマイナス幅が縮小した。小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	16.6 (10.0)	59.6 (66.0)	23.8 (24.0)	▲ 7.2 (▲ 14.0)	21.9 (10.7)	50.3 (63.3)	27.8 (26.0)	▲ 5.9 (▲ 15.3)
建設業	8.3 (0.0)	83.4 (80.0)	8.3 (20.0)	0.0 (▲ 20.0)	12.5 (8.0)	70.8 (72.0)	16.7 (20.0)	▲ 4.2 (▲ 12.0)
製造業	25.0 (10.0)	50.0 (55.0)	25.0 (35.0)	0.0 (▲ 25.0)	40.0 (15.0)	35.0 (60.0)	25.0 (25.0)	15.0 (▲ 10.0)
卸売業	15.4 (6.7)	38.4 (60.0)	46.2 (33.3)	▲ 30.8 (▲ 26.6)	15.4 (6.7)	46.1 (60.0)	38.5 (33.3)	▲ 23.1 (▲ 26.6)
小売業	16.1 (8.0)	54.9 (72.0)	29.0 (20.0)	▲ 12.9 (▲ 12.0)	16.1 (8.0)	42.0 (64.0)	41.9 (28.0)	▲ 25.8 (▲ 20.0)
飲食業	11.1 (17.6)	55.6 (23.6)	33.3 (58.8)	▲ 22.2 (▲ 41.2)	27.8 (17.6)	38.9 (29.5)	33.3 (52.9)	▲ 5.5 (▲ 35.3)
サービス業	20.0 (14.6)	62.2 (77.1)	17.8 (8.3)	2.2 (6.3)	22.2 (10.4)	57.8 (72.9)	20.0 (16.7)	2.2 (▲ 6.3)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

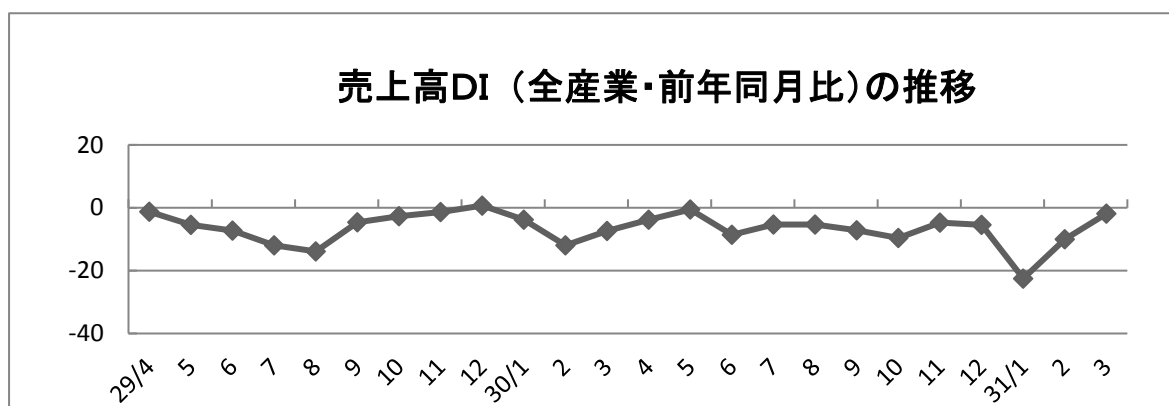


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲10.0）からマイナス幅が8.1ポイント縮小し▲1.9となった。業種別に見るとサービス業はプラス幅が縮小した。建設業、製造業はマイナスからプラスに転じた。飲食業、卸売業はマイナス幅が縮小し、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
全 体	▲ 3.8	▲ 0.6	▲ 8.6	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 7.2	▲ 9.6	▲ 4.7	▲ 5.4	▲ 9.4	▲ 22.5	▲ 10.0	▲ 1.9
建 設 業	16.6	4.6	▲ 4.6	▲ 8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3	0.0	▲ 10.0	▲ 20.0	8.4
製 造 業	▲ 14.3	8.7	▲ 5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 16.6	▲ 19.1	▲ 36.0	▲ 10.0	10.0
卸 売 業	7.7	▲ 15.4	26.6	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5	▲ 7.2	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4
小 売 業	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 38.7	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0	▲ 26.7	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9
飲 食 業	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2
サービス業	▲ 2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6

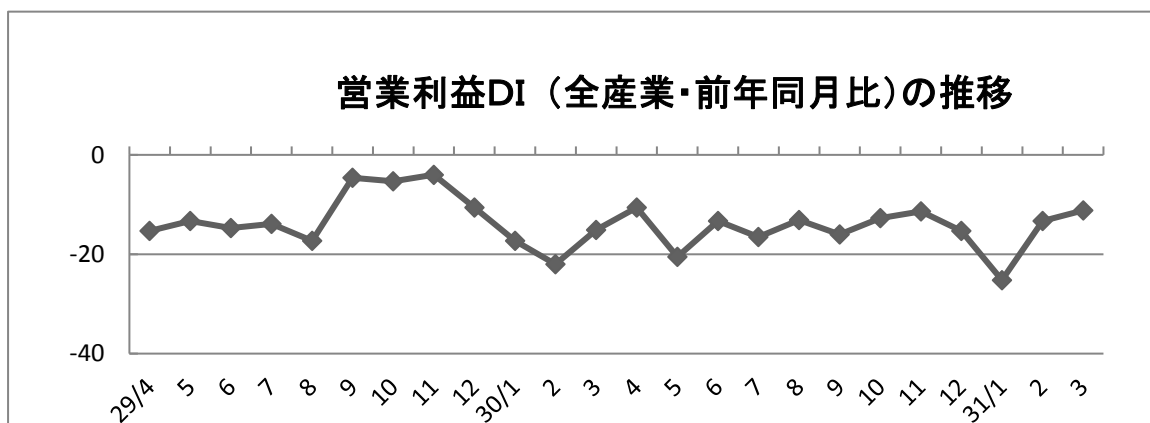


3. 営業利益DI（前年同月比）

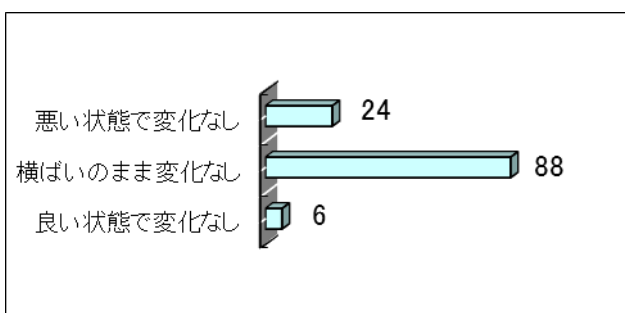
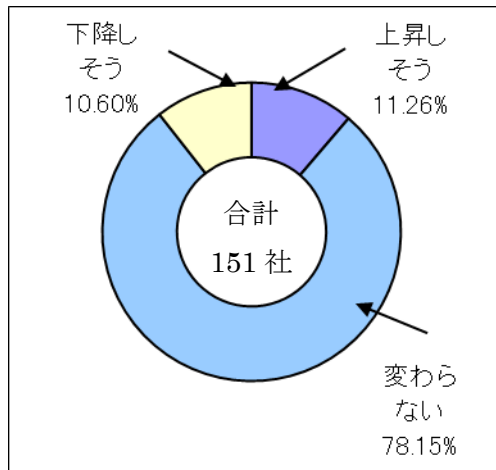
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲13.3）よりマイナス幅が2.1ポイント縮小し、▲11.2となった。業種別に見ると、サービス業はプラス幅が拡大した。飲食業、建設業、製造業はマイナス幅が縮小し、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
全 体	▲ 15.1	▲ 10.6	▲ 20.5	▲ 13.3	▲ 16.5	▲ 13.1	▲ 16.0	▲ 12.7	▲ 11.4	▲ 15.3	▲ 25.2	▲ 13.3	▲ 11.2
建 設 業	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 17.4	▲ 22.7	▲ 12.0	▲ 13.1	▲ 4.7	0.0	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 4.2
製 造 業	0.0	▲ 4.4	▲ 15.0	▲ 18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 11.1	▲ 23.8	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 20.0
卸 売 業	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7
小 売 業	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0	▲ 36.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8
飲 食 業	▲ 22.2	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8
サービス業	▲ 5.4	8.1	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4



◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○平成31年4月～令和元年6月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.74ポイント減少し11.26%、「下降しそう」が6.6ポイント増加し10.60%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲4.1)、製造業(▲10.0)、卸売業(0.0)、小売業(6.4)、飲食業(▲11.1)、サービス業(8.9)であった。

➡「上昇しそう」では「公共工事の予算大幅増のため」(建設業)「需要増加の期間のため」(製造業)「得意先の予約状況が好調のため」(卸売業)「改元等祝賀ムードに期待するため」(商品とサービスの差別化がお客様に認知されだしたため)「3月にリニューアルが終わり広く明るくなったため」(改元による特需が見込めるため)「10月からの消費税率上げで駆け込みがあると考えられるため」(小売業)「桜の開花及び歓迎会があるため」(GW、修学旅行があるため) (飲食業)「観光、大型連休、婚礼シーズンに入るため」(本格的に観光シーズン到来のため)「毎年新人研修等の依頼があるため」(新学期が始まり新しい生徒が入ってきそうのため)「新技術の導入とインスタを使っての集客が望めるため」(職業訓練受講者が増加に転じたため)「稼働中プロジェクトの分割回収があったため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「変わらない」では「今後しばらくは薄利多売のような繁忙状態が続くそうのため」(建設業)「社内業務改善による生産性向上と元号が変わること、地方選が上向き要因だが、紙不足と各種材料費、外注加工費値上げが下向き要因のため」(この時期は例年繁忙期に当たり、フル稼働しているため) (製造業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「大きな工事が決まっこないため」(建設業)「受注減少見込み(半導体生産の動向等)のため」(受注量が減少になるため) (製造業)「不安定になってきたため」(卸売業)「年度末が終了したので新年度の需要があるか不安なため」

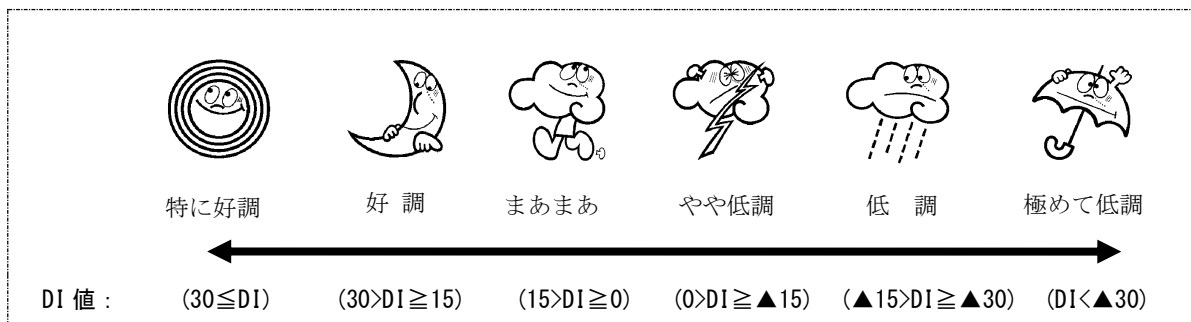
「連休もあり特に必要とされない業種のため」(小売業)「宴会の予約が少なくなる5、6月は売上が減少するため」「ピークが終わりいったん落ち着きを見せるとするたため」

「宴会がないため」(飲食業)「10連休でかなりの売上減になりそうなたため」「統一地方選の影響で仕事発注が動かないため」

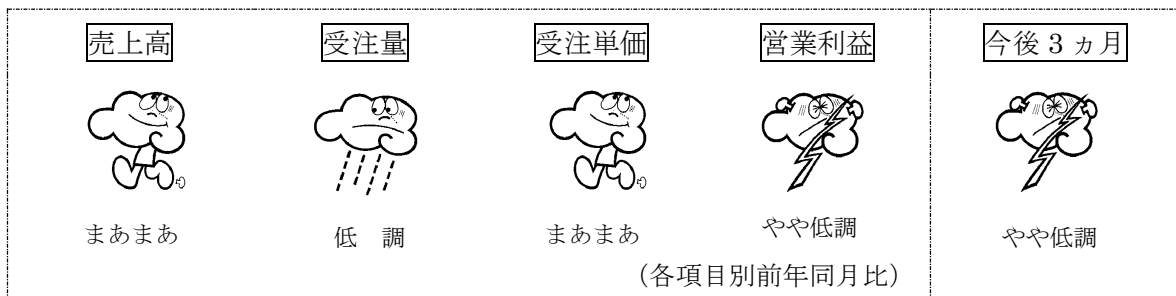
「発注物件が無いため」(サービス業)と
いった声が寄せられた。

業種別景況

<DI君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
売上高	16.6	4.6	▲4.6	▲8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3	0.0	▲10.0	▲20.0	8.4
受注量	▲9.5	▲4.5	0.0	0.0	13.1	9.1	12.0	▲8.7	9.5	13.7	▲10.0	▲12.0	▲16.7
受注単価	▲5.5	▲4.5	0.0	▲8.7	0.0	4.6	8.0	▲4.4	4.8	4.6	5.0	4.0	0.0
営業利益	▲22.2	▲22.7	▲13.6	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0	▲13.1	▲4.7	0.0	▲15.0	▲16.0	▲4.2
見 通 し	0.0	4.5	18.2	13.1	8.7	9.1	12.0	4.4	4.8	13.7	10.0	12.0	▲4.1

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

一部資材の調達が非常に困難で仕事の受注判断に支障をきたす状態である。昨年からの傾向で今年春頃には改善されると楽観していたが、更にひどい状況になっている。建設関係は需要が旺盛であると感じているが、この辺から需要の波が減退していく懸念がある。受注請負産業である以上、推移を見守り自社においては早めの手立てを講じるしかないと考えている。

総合建設
土木工事

管工事
建設業

建築工事

- ・仕事量や稼働率は全体的に高い水準だ。一方、設計図書作成遅れや、原材料の供給不足、輸送トラックの手配難、人材不足などの課題が山積みしている。
- ・高力ボルト等資材の入手難が依然と継続し、改善されていないため、今後の工事受注に影響が出そうである。
- ・国の設計労務単価が約8%上昇により県・市町村も追随した。
- ・年度末の仕掛工事量が前年同期より少なく、繰越工事の受注量も思っていたより少ない。
- ・GDPも賃金も水増し、不景気なのだから消費税は減税して欲しい。
- ・単価等は値上げがないので、全体的には営業利益に続かない。
- ・公共工事の発注量が例年に比べ多かった印象がある。
- ・公共工事の労務単価が上がった。
- ・近年に無い悪い状況である。新年度の公共工事に期待する。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
売上高	▲14.3	8.7	▲5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲16.6	▲19.1	▲36.0	▲10.0	10.0
受注量	▲9.5	8.7	0.0	▲4.5	4.6	13.0	▲4.0	8.7	▲22.2	▲23.8	▲40.0	▲5.0	0.0
受注単価	▲23.8	▲13.0	▲5.0	▲18.2	▲13.7	▲13.1	▲16.7	▲8.7	▲16.7	▲9.5	▲16.0	▲20.0	▲10.0
営業利益	0.0	▲4.4	▲15.0	▲18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲11.1	▲23.8	▲32.0	▲30.0	▲20.0
見通し	▲14.3	▲8.7	15.0	▲4.6	0.0	8.7	▲4.2	▲8.7	▲11.1	▲14.3	12.0	0.0	▲10.0

<経営者の目・見方・etc>

印刷

- ・年度末から新年度、改元と動きがある中、印刷用紙の不足、入手困難という信じられない状況にある。製紙メーカーの工場で火災があり、未だに生産が再開されていない。用紙不足、入手困難な状況は夏まで続く可能性もあり得る。
- ・製紙メーカー、紙卸とも印刷用紙不足が発生し、繁忙期に仕事が滞る事態が発生した。原因は昨年の災害が影響した紙の減産と中国による古紙の買占めによる国内再生紙の流通不足によるもの。グリーン購入法¹が全く機能しなくなり、行政の再生紙の契約も急遽変更で一般品に流れ、一般品も主要メーカー品から次々と品薄になった。一部ではネット印刷の主要品目の事前買占めもあった。ネット印刷すらも品目制限に対応をせざるをえないほどの用紙不足状況であった。
- ・紙の値上げ、運賃の増加によるコストが増加の傾向である。

紙器

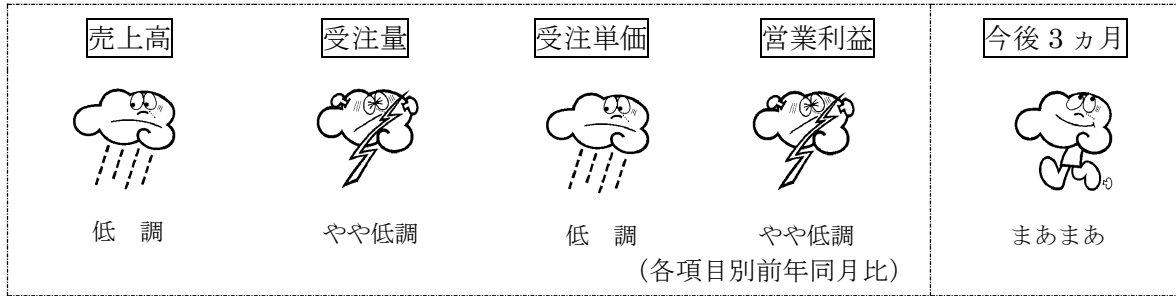
- ・1、2月に比べ売上が大分増加した。今後も何とか維持していけるようにしたい。

¹ ※グリーン購入法...国等による環境物品等の調達に関する法律
(参照：環境省ホームページ www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/index.html)

精密機器
金属塗装
菓子

- ・製造業の中でも明暗が分かれており、極めて不透明な状況となっている。
- ・米中貿易摩擦の影響が出てきている。受注が減少し収益を圧迫している。
- ・同業他社は土産関係の得意先の売上が相当低迷していてその影響を受けたと聞いている。自社の販路は一般流通が主であるため売上への影響は受けなかった。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
売上高	7.7	▲ 15.4	26.6	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5	▲ 7.2	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4
販売客数	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	▲ 6.7	0.0	▲ 10.0	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 7.7
販売客単価	23.1	0.0	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 9.1	10.0	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.4
営業利益	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7
見通し	0.0	▲ 7.7	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 14.3	▲ 6.7	6.7	0.0

<経営者の目・見方・e t c >

土産品

・新しい元号への期待と「平成最後の」といった、うたい文句に便乗し、商品が良く売れた。

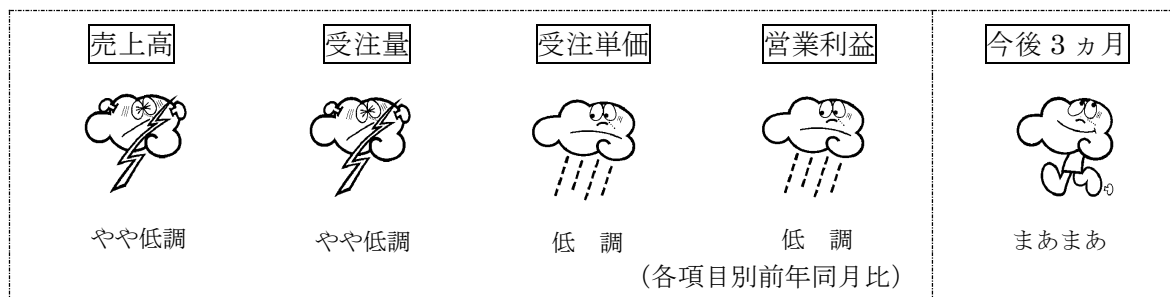
金属製品

・メーカーの年度末在庫調整が終わり、産業機械、建設機械、車関連は復調の兆しが見えてきた。
・建築関連は依然ボルト類の納期遅れはあるものの全体的には好調に推移した。

機械工具

・相変わらず品物の納期時間がかかっている。
・米中の通商摩擦の影響で客先の輸出減少によって在庫調整、生産調整が見られ在庫が増えている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
売上高	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 38.7	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0	▲ 26.7	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9
販売客数	▲ 27.0	▲ 10.7	▲ 25.8	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 38.7	▲ 23.3	▲ 26.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 37.0	▲ 16.0	▲ 12.9
販売客単価	11.6	17.9	▲ 19.4	0.0	▲ 7.7	▲ 12.9	▲ 3.3	▲ 13.4	▲ 3.4	0.0	▲ 14.8	4.0	▲ 16.1
営業利益	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0	▲ 36.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8
見通し	▲ 3.9	▲ 3.6	3.2	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 9.1	0.0	4.0	6.4

<経営者の目・見方・etc>

印章・刃物研ぎ

印章

住宅機器

陶磁器

文具

生鮮食品

パン

菓子

薬局

ショッピングセンター

書籍・木のおもちゃ

- ・相変わらず寒さが厳しく人出も少ない。新しい元号で活気が欲しい。
- ・松本山雅のホームゲームに浦和レッズ、川崎フロンターレというビックネームが登場し、サポーターさん達が多数お越しになり、街が賑わうのはとてもありがたいことである。
- ・1月から動きが低調である。
- ・昨年ほどではないが暖かい日が多く「お花見」が日本観光の目玉になったのか欧米系の観光客が開花前から多かった。
- ・10連休は学校が休みになるので、特に子供のいる家庭では支出が大きく膨らみ、連休後から夏休みまでの消費は過去に例が無いくらい冷え込みそうである。それならば10連休中にしっかり稼ぎたい。
- ・年度末による商品の流れはあったが、新年度に入ってから商品の動きが心配だ。
- ・売上だけ見れば例年より多かったが、暖かな日が続く天候に左右されると思う。仕入れ値がまた上がるようで頭が痛い。
- ・原材料及び人件費を含む経費が上昇している。求人についても問合せが少ない。
- ・販売状況として自社店舗は前年をクリアしたが委託販売は会社の方針で取引を止めており、売上の減少がある。当社は構造改革に着手しており改革の正念場を迎えている。
- ・統一地方選の時期は商店は暇になる。4月の観光客に期待する。
- ・業界としては10月の消費税対策が課題になると思う。
- ・一人当たりの単価は下がった。
- ・外国人が多い。
- ・天候にも恵まれ街場の動員に関しては順調で、新生活需要も好調に推移した。衣料品に関しては、消費者の購買スタイルは変化が見られデジタルと実店舗の連動は課題となっている。
- ・消費不況の影響が大きくなかなか売上が増えていかない。書籍以外にお客様を取り込める商品をリサーチ中である。

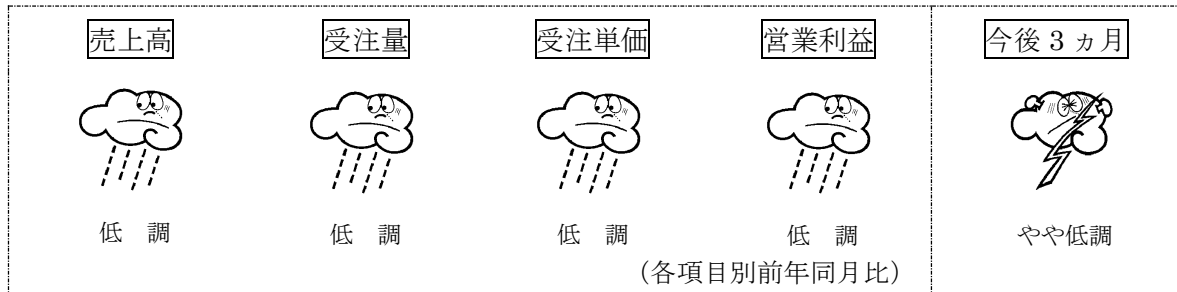
婦人服

・3月上旬から中旬までショップの改装で移動もあり落ち着かない日々だったが、明るく広くなりおもてなしも出来るようになった。増税前の対策であったが満足している。

燃料

・出光、シェルの合併の影響がある。
・営業時間の効率化を図っている。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
売上高	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2
販売客数	0.0	▲ 12.5	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 72.2	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 11.7	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 23.6	▲ 41.1	▲ 16.7
販売客単価	▲ 5.5	▲ 12.5	▲ 16.6	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 36.8	▲ 5.9	▲ 27.8	▲ 16.6	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 27.7
営業利益	▲ 22.2	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8
見通し	5.5	▲ 6.2	▲ 5.6	21.0	0.0	▲ 15.8	▲ 10.5	17.6	11.1	▲ 11.1	0.0	11.7	▲ 11.1

<経営者の目・見方・e t c>

寿司

- ・選挙を控えお客様の足が遠く懸念があったが、卒業式、歓送迎会などの需要に加えて天候にも恵まれフリーのお客様も含めて好調な月であった。
- ・GW需要に期待している。
- ・3月に今シーズン初めて雪かきをした。全体的には好天に恵まれ客足も良かった。色々な行事が沢山あり非常に有難い。

料理

- ・月前半はお客の動きが無かったが、高校入試の合格発表後は例年の春らしく盛り上がった。

郷土料理

- ・観光客も宴会も減少したので不安定な状況が心配である。

仕出し料理

- ・年度末で仕出し弁当の特別注文が多かったが一食当たりの単価が下がり、前年度より売上が伸びなかった。

中華料理

- ・タイミングが合わず、大人数の送別会を数回お断りすることになり、うまくかみ合わない月であった。予約の電話が鳴るように気を入れ頑張りたい。
- ・選挙のある年は余計に悪化する。

創作料理

- ・3月は年度末で客足も伸びたが、一時的な事だと思われる。例年のお客様はあったものの新規のお客様は1組のみで4月以降の動きは不透明である。

居酒屋

- ・暖かく夜の人出が多く感じられた。
- ・4月以降は大型連休のため出費を抑えると予想される。

洋風居酒屋

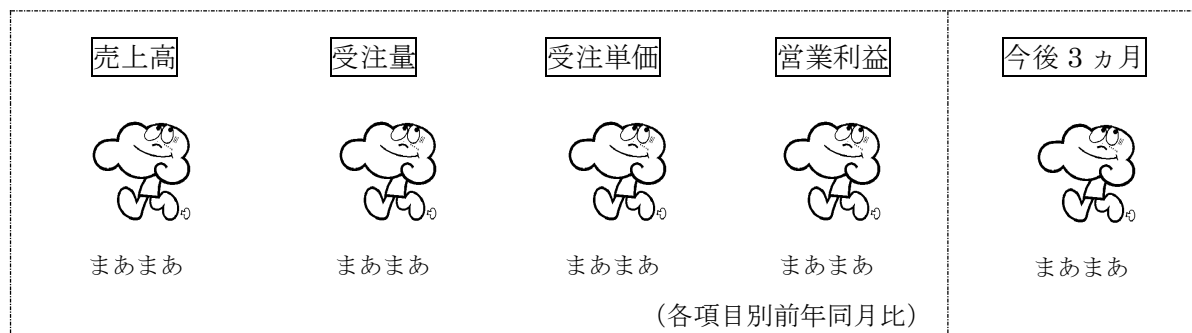
- ・今後の松本つなぐ横丁の動きが気になる。

食堂

- ・イオンモールの影響から平均して来客数が多く、とりわけ土日の売上が良かった。

- ・令和に期待したい。
- ・花フェスタ、GW、お花見等に期待したい。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
売上高	▲ 2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6
販売客数	▲ 5.4	6.1	▲ 8.9	6.4	1.9	▲ 8.4	▲ 4.2	▲ 7.0	0.0	▲ 9.5	17.0	2.1	4.4
販売客単価	8.1	4.0	4.4	4.3	5.8	4.2	4.2	7.0	4.0	0.0	▲ 2.1	6.2	6.7
営業利益	▲ 5.4	8.1	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4
見通し	8.1	6.1	8.9	14.8	0.0	6.2	4.2	▲ 7.0	▲ 4.0	▲ 2.3	10.6	16.7	8.9

<経営者の目・見方・e t c>

自動車整備、
板金塗装

温泉旅館
ホテル

タクシー
機械設計
マナー講師
ネイル

教育業

獣医

- ・ガソリンがまた上昇している。平成が終わると同時に景気も悪くなるのではと不安である。新年度が始まるにあたり忙しさが続くと思われたがそれほどではなかった。5月の連休も我々には頭が痛いことである。
- ・寒冷のためと思いたくないが、動きは弱めである。4月の桜の開花を待っている。
- ・宿泊の伸びがなかった。会議、宴会の予約も2～3ヶ月前からの先行を含め悪かった。4、5月は戻りそうである。
- ・宿泊、インバウンドが月中においても新規問合せがあった。また団体人数も確定的に人数増になり好調に推移している。
- ・アジア系団体の動きがある。ただし、インドネシアについては4月に行われる選挙の影響もあり大きな動きがない月であった。
- ・稼動と客数が少なく売上は前年に届かなかった。
- ・今年の前半までは横ばいの状況であるが、後半は厳しくなりそうだ。
- ・毎年同じだが3月より研修が入り忙しくなる。新しい路を開いていきたいと思う。
- ・3月は2019年の春夏ネイルトレンドが発表され、硝子をテーマに展開する春夏にふさわしいサロンスタイルデザインが紹介された。5月には国際ネイルイベントが開催されるため盛り上がってきている。
- ・3月は卒業の時期でもあり塾の出入りの多い時期でもある。新学期(4月)に向けて体験等に期待したい。
- ・豚コレラ病が中京地区で発生して猛威を振るっている。20年程前までは全頭ワクチン接種が義務づけられていたが現在はやっていない。犬に関しては狂犬病予防法で4～6月にワクチン接種が義務づけられている。狂犬病は哺乳類全般の病気であるので犬飼育者は年に一度しっかり接種してほしい。

ホームクリーニング・
リネンサプライ
測量・建設コン
サルタント業
ソフトウェア

・リゾート関連は順調に推移した。

・3月下旬から官庁の金額の大きな仕事が出始めた。このまま続けてほしい。

・人手不足につきる。地方の場合、大手を頂点とした下請構造の下層に位置する
場合が多い。情報漏えいを気にするあまり、自社環境で仕事のできる状況が少な
いが、知識と経験を得ることが難しく、結局もともとスキルの高いエンジニアの取り
合いになっている。

